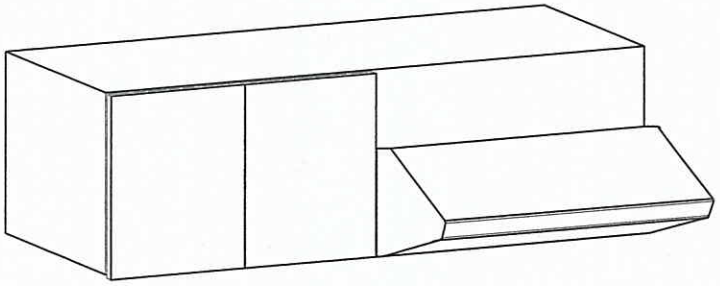
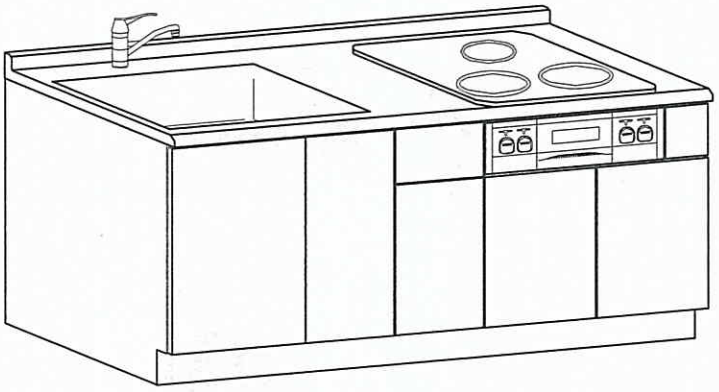
タカラ

コンパクトキッチン
アピスカ・オフェリアR
設置説明書





もくじ

1．設置される方へのお願い……1
2．安全上のご注意……2～3
3．設置前のご確認……3
4．設置方法……3～10
5．仕上げ……10
6．安全点検および試運転……10
7．お願い事項……11

1．設置をされる方へのお願い

●キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。

●本説明書は、フロアキャビネットのものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

●設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。

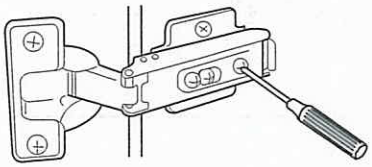
手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

⚠注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしてがって、正しくお使いください。

誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因のなるおそれがあります。

排水器具の取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。

取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

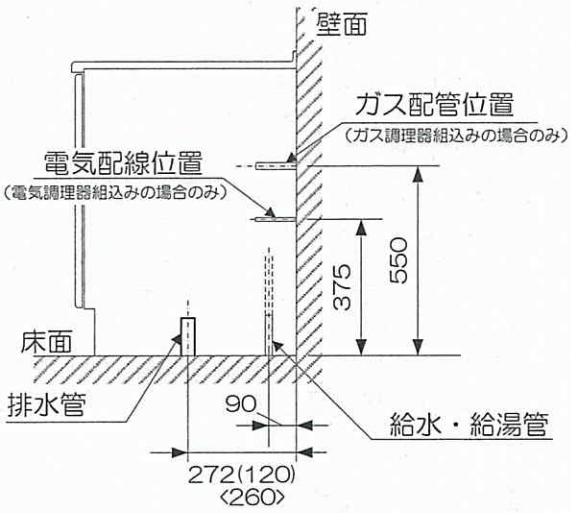
設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないよう十分注意してください。

設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

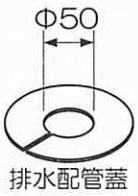
3. 設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
●設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
●下記の項目についてその位置を確認してください。
（1）給水給湯管・排水管位置
（2）建築側のガス管・電気配線接続位置
（3）レンジフードの排気口位置
（4）機器類の電気配線位置
●ガス種、電圧（１００V、２００V）、周波数（50Hz、60Hz）を確認してください。
●各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。
●オプション品については、付属の説明書をお読みください。



※<>内寸法は扉タイプの人造大理石製ワークトップの場合を示します。
※( )内寸法はスライドタイプの場合を示します。
※壁面とキャビネットとの間にタイル等が設置される場合は上記の給排水位置にその厚み分を加えてください。

機　種	内　容	数量
フロアキャビネット	トラスタッピンネジ4．5×60（壁面固定用） トラスタッピンネジ4×10（ワークトップ固定用） トラスタッピンネジ3．5×14（前板固定金具固定用） 排水配管蓋（VP－40管用） コンパクトキッチン 設置説明書（本書） システムキッチン 取扱説明書 吊戸棚 取扱・設置説明書 製品等級表示シート	2 5 4 1 1 1 1 1



4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

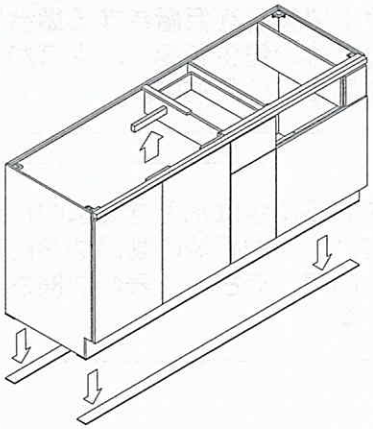
1．吊戸棚・レンジフードの取付 → 2．フロアキャビネットの設置 → 3．水栓の取付 →
4．ワークトップの取付 → 5．排水部品の取付 → 6．加熱器具の設置 → 7．給水・給湯管と水栓の接続 →
8．排水管の接続 → 9．扉・引出・固定扉の調整

1．吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、吊戸棚設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2．フロアキャビネットの設置

設置前に設置場所に木クズやゴミなどがないか確認してください。又、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットが水平に置かれるよう床を調整してください。



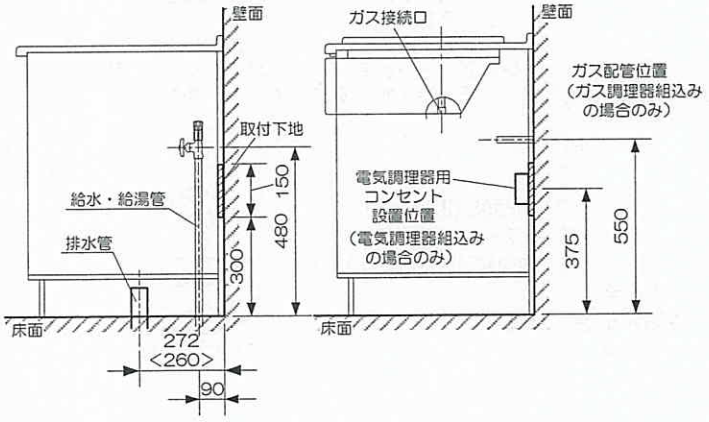
【1．梱包補助材の取り外し】

●キャビネット底部に取付けてある梱包補助材を取りはずしてください。
人造大理石ワークトップ用キャビネット（間口１２０ｃｍを除く）の場合、シンク側上部に取付けてある梱包補助材を取りはずしてください。

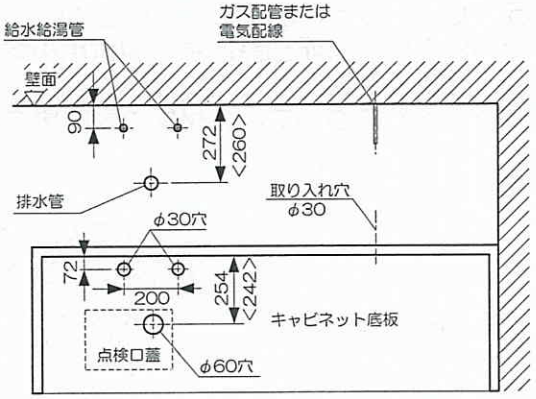
【2．キャビネットへの穴加工】

●給水・給湯管穴の加工
配管の立上げ位置を確認してください。給水、給湯管の立上げ位置に合わせてキャビネット底板にφ３０程度の穴を２箇所加工してください。
●排水管穴の加工
配管の立上げ位置を確認してください。排水管の立上げ位置に合わせてキャビネット底板の点検口蓋にφ６０程度の穴を加工してください。
●ガス配管穴の加工（ガス調理器組込みの場合のみ）
配管の立上げ位置を確認してください。ガス配管の立上げ位置に合わせてキャビネット底板にφ３０程度の穴を加工してください。
●電気配線穴の加工（電気調理器組込みの場合のみ）
電気配線位置を確認してください。電気配線位置に合わせてキャビネット背板にφ３０程度の穴を加工してください。

（扉タイプの場合）

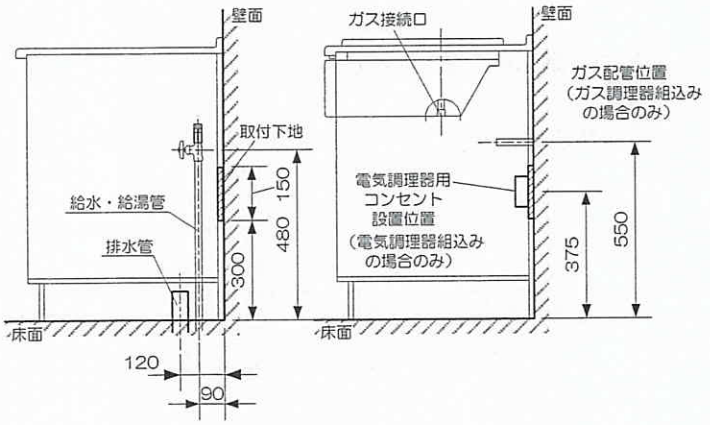


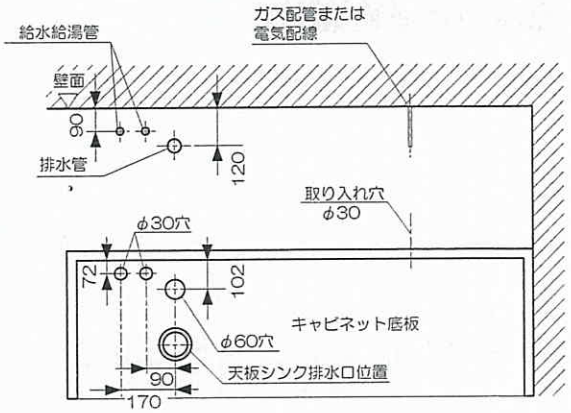
※<>内寸法は人造大理石製ワークトップの場合を示します。



※<>内寸法は人造大理石製ワークトップの場合を示します。
注）配管位置は設置例です、水栓・シンク形状により変化します。

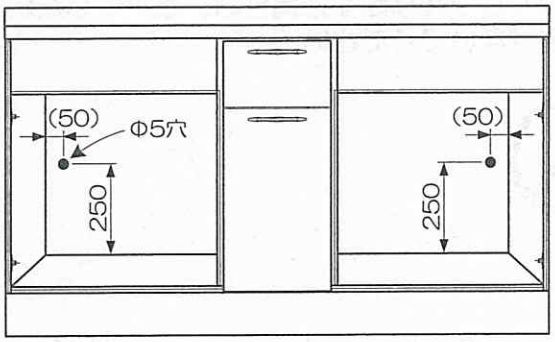
（スライドタイプの場合）





注）配管位置は設置例です、水栓・シンク形状により変化します。

●壁面固定穴加工
シンクキャビネット後板の所定の位置に壁面固定穴φ5を２箇所加工してください。



【3．キャビネットの設置】

●キャビネットの設置
所定の位置にキャビネットを設置してください。
加熱調理器組込みタイプの場合は、ガス配管または電気配線をキャビネット庫内に引き込んでください。

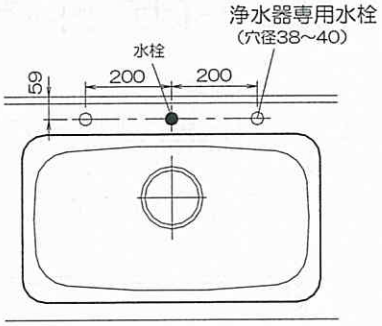
●壁面固定
シンクキャビネットの後板の壁面固定穴からトラスタッピンネジ4.5×60で固定してください。

3．水栓の取付

【1．水栓穴の加工】

オプション品（浄水器等）を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。
図中●印：穴有天板の設定有　○印：現場での穴加工が必要です
注意）幅３０cmのシンクには浄水器専用水栓が取付できません。

浄水器専用水栓取付位置



【2．水栓の取付】

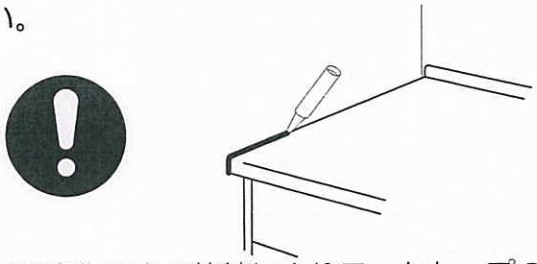
水栓に付属の設置説明書にしたがって取付けてください

（アルカリ整水器の場合）
アルカリ整水器用水栓取付位置は、上記の浄水器専用水栓と同じ位置になります。
配管の接続、機器の設置等はアルカリ整水器付属の設置説明書を参照してください。

4．ワークトップの設置（人造大理石製ワークトップの場合）

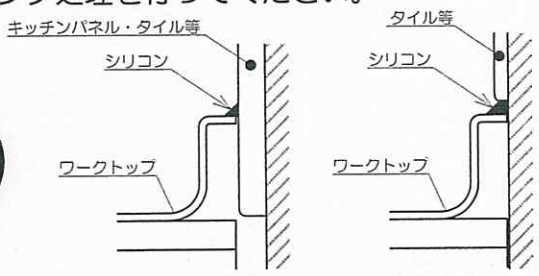
⚠ 作業上の注意事項

人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合、シリコンによる目地を3~4mmとってください。



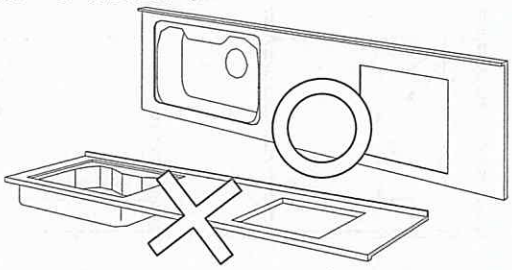
温度変化による伸縮によりワークトップのそりの原因になる恐れがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が進入した場合、腐食や、カビの発生の原因になるおそれがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



横にして運んだ場合、ワークトップに損傷を与える恐れがあります。

取付中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。

製品が変形・破損するおそれがあります。

シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄しないでください。

製品が変形・変色するおそれがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合、ダンボール等で養生を行ってください。

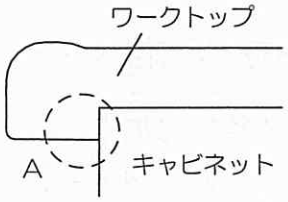
壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。

【ワークトップの取付】

①ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせてください。

注）キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間（A部）にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

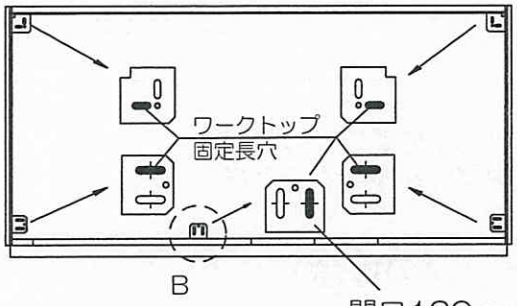


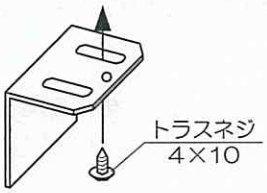
②ワークトップの固定

キャビネットのL金具よりネジでワークトップを固定してください。

固定位置は、ワークトップの両サイドです。間口120cmの場合、中央付近にもあります（B部）。

（L金具には長穴と丸穴があいています。間口調整ができるように長穴の中央付近からネジ打ちしてください。）

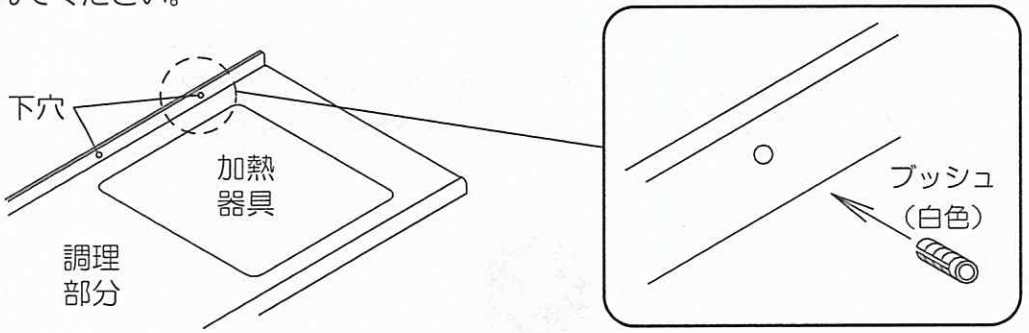




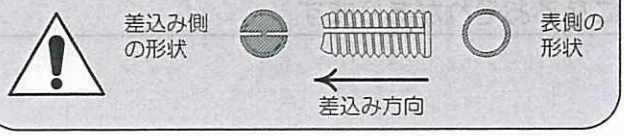
間口120ｃｍのみ固定。

③防熱板の取付

ワークトップの立上り部分にある下穴（２ヶ所）に、ブッシュを差し込んでください。ブッシュを奥まで差し込んでください。

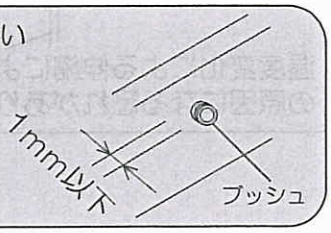


ブッシュを反対に差し込むと取付できませんので、差込み方向に注意してください。

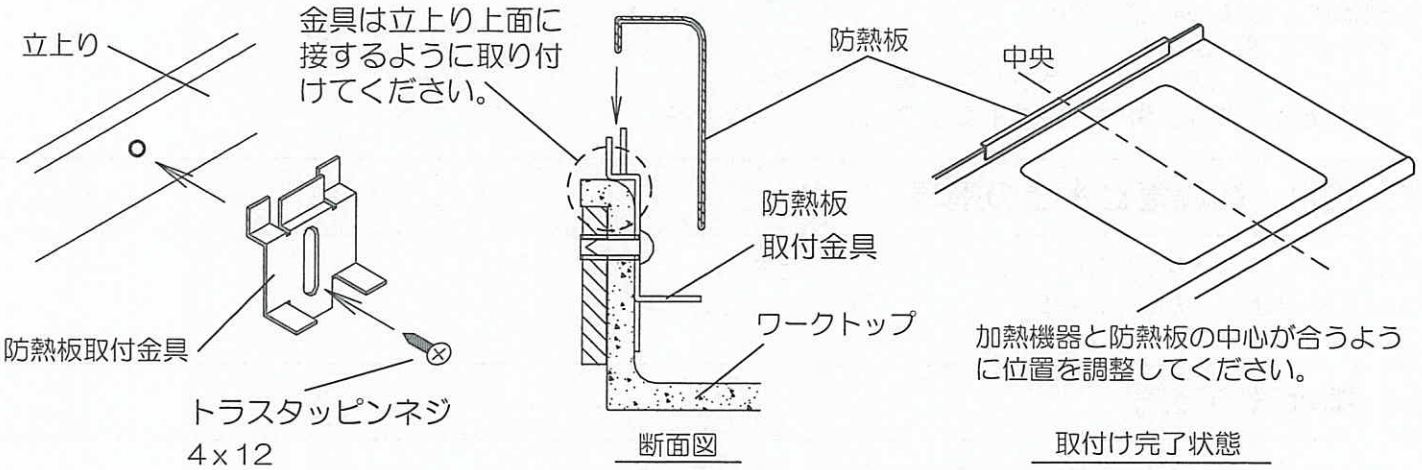


立上りより1mm以上飛び出ないようにしてください。

防熱板取付金具がしっかり取付できないおそれがあります。



防熱板取付金具をネジでブッシュに固定し、防熱板を金具に差し込んでください。
加熱機器と防熱板の中心が合うように位置を調整してください。

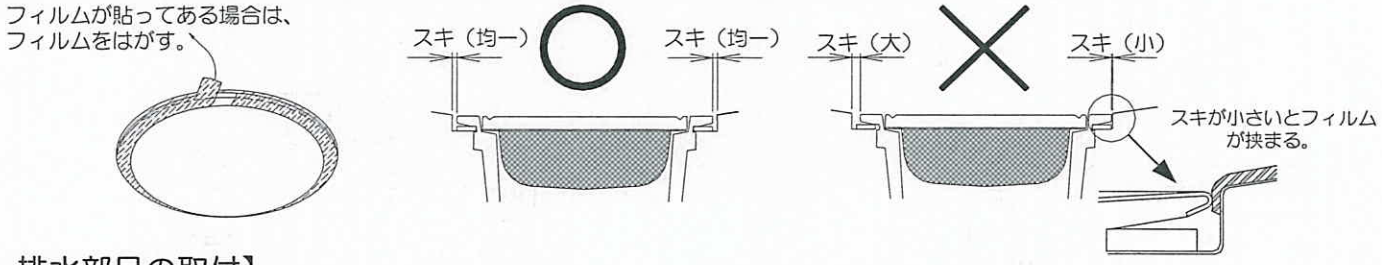


5．排水部品の取付（人造大理石製ワークトップの場合）

【1．設置準備】

①シンクの排水器具取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。
（排水器具取付部にフィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがして取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。）

注）1．排水器具取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
2．排水器具取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所でフィルムが挟まり、取りにくくなります。

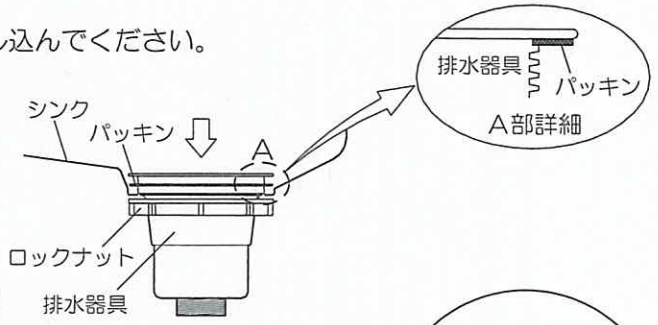


【2．排水部品の取付】

①排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注）排水器具のパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。（A部詳細）

②排水器具をロックナットで仮固定してください。



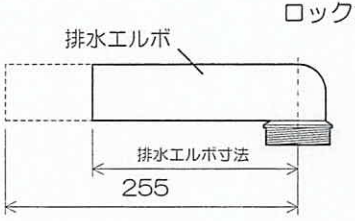
【3．排水エルボの取付】
（スライドタイプ間口180・165・150cmの場合）

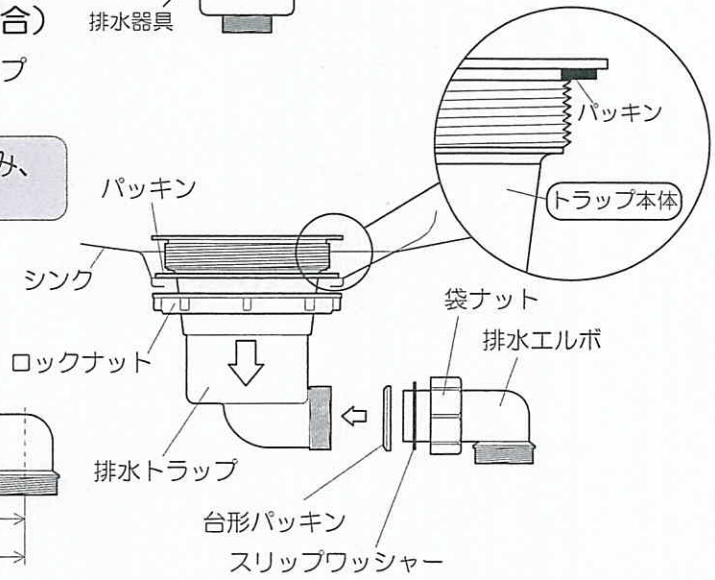
①排水エルボに袋ナット・台形パッキンを装着してトラップ本体に袋ナットで取付けてください。

注）エルボはトラップ接続口の奥まで十分に差し込み、袋ナットをしっかりと締め付けてください。

<排水エルボ寸法表> 単位：mm

ワークトップ材質	長さ
ステンレス	105
人造大理石	95





6. 加熱機器の設置

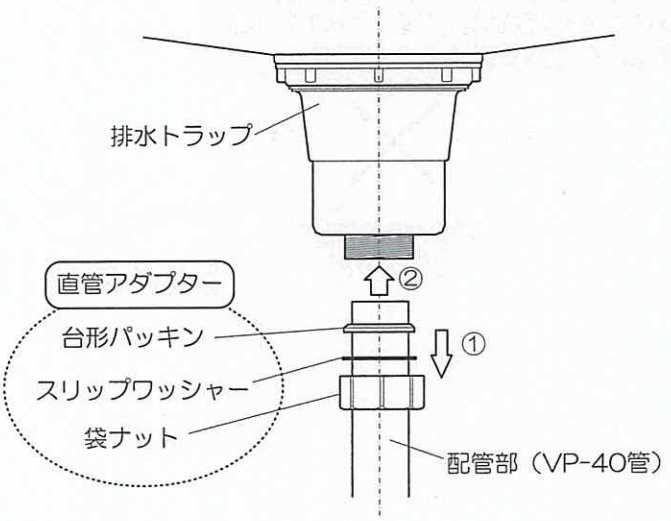
加熱機器に付属の設置説明書にしたがって行なってください。
（電気調理器の場合）
キャビネット庫内にコンセントを設置してください。
配線関係の接続工事は、必ず電気工事店等の「有資格者」が行なってください。

7. 給水・給湯管と水栓の接続

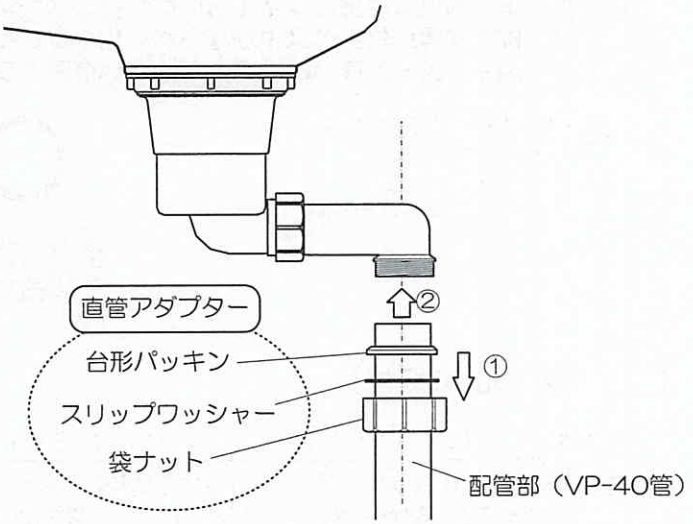
配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
配管工事は水栓の設置説明書にしたがって行ってください。

8. 排水管の接続

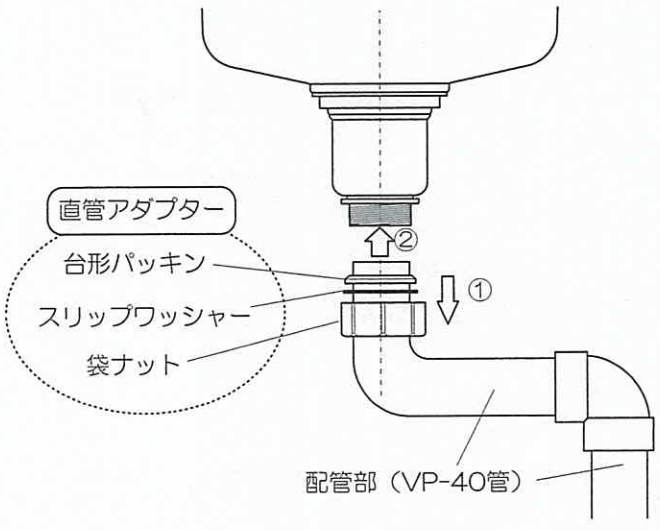
・排水管の配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
・排水トラップ接続部（直管アダプター付）以降の配管部材は全て現地手配となります。
＜排水トラップへの接続方法＞
①図の通り配管部に直管アダプターを装着してください。
②排水管を排水トラップまたは排水エルボに袋ナットで固定してください。
・配管後に、付属の排水配管蓋（ＶＰ－４０管用）を配管に通して底板に貼り付けてください。



＜ 扉タイプ ＞



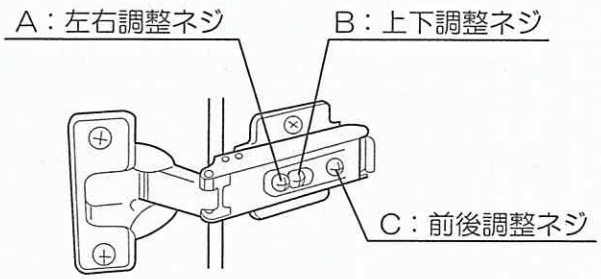
＜ スライドタイプ 間口180・165・150cm＞



＜ スライドタイプ 間口120cm＞

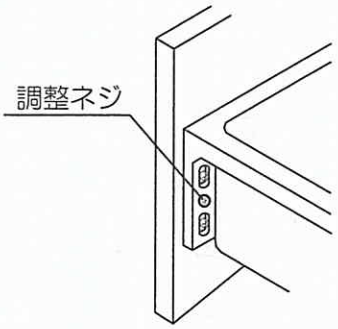
9. 扉の調整

【1．開き扉】（丁番の調整）



①前後調整
　Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。
②左右調整
　Aのネジを調整することにより、扉が左右に動きます。
③上下調整
　Bのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。
注）調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

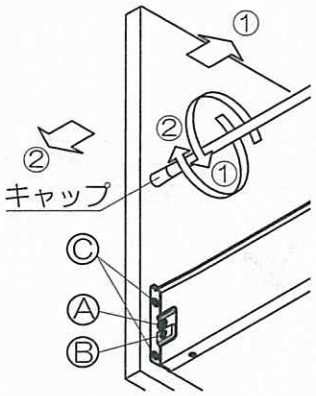
【2．引出】（樹脂引出）

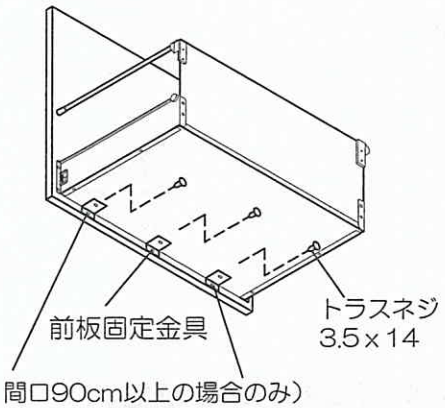


引出表板裏面の樹脂引出部に露出しているネジを緩めると、引出表板が調節可能になります。
注）調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

【3．スライド扉】

①スライド扉の左右方向の調整
　Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。
②スライド扉の上下方向の調整
　Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。
③スライド扉の前後方向(角度)の調整
　左右のバーまたはキャップを回して扉の角度調整を行ってください。
④仕上げ
　調整後、間口60cm以上については前板固定金具と前板をトラスタッピンネジで固定してください。
　ただし、間口90cm以上の引出は、前板固定金具を3つ固定してください。

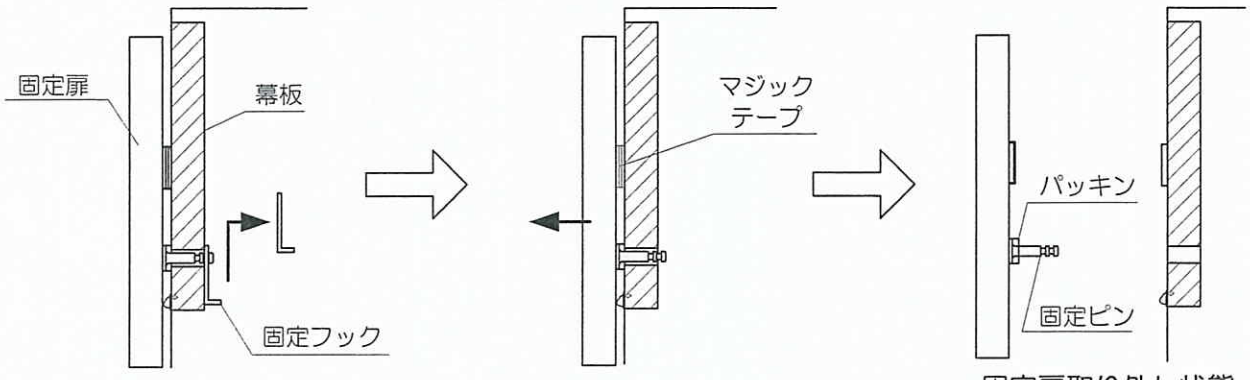




【4．固定扉】

①固定扉の取外し方（スライドタイプの場合）
（1）シンクキャビネットの幕板裏面に取付けてある固定フックを上にスライドさせて、
　　固定フックを取り外してください。
（2）マジックテープで固定してある固定扉を手前に引っぱり、固定扉を外して調整を行ってください。

注）固定ピンに取付けてあるパッキンは落とさないよう注意してください。



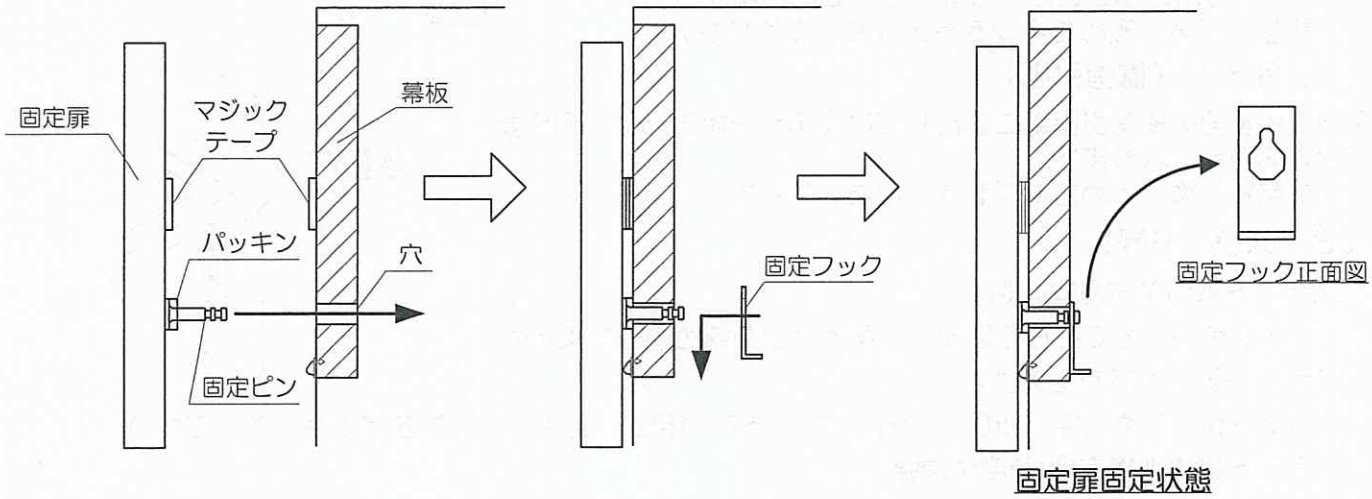
固定扉取り外し状態

②固定扉の取付（スライドタイプの場合）

（1）固定扉の固定ピンをシンクキャビネット幕板の穴に通し、マジックテープで固定してください。

（2）固定フックを固定ピンに通し、下にスライドさせて固定扉を固定してください。（確実に固定できた時は、カチッと音がします。）

注）固定フックはダルマ穴になっていて、固定ピンが抜けないようになっています。



5. 仕上げ

【1．コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2．清掃】

設置時に商品が汚れた場合は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。

6. 安全点検および試運転

【1．安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2．組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7．お願い事項

【1．商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2．取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
本説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

【3．梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
TEL ０６－６９６２－１５３１

10154593
2G-1